

園芸科学科

新宮小との花植え交流

児童と高校生、一緒に苗植え



生徒に教えてもらいながら花の苗を植える児童＝高山市新宮町、原山市民公園

原山市民公園の花時計周辺

高山市新宮町の原山市民公園で、地元の新宮小学校の児童と同市山田町の飛騨高山高校園芸科学科の生徒が、花時計周辺にある花壇に花の苗を植えた。

同公園の指定管理者の新宮地区まちづくり協議会が、地元の児童と生徒らの交流を深めてもらおうと企画。5月中旬ごろから生徒が育ててきたヒマワリとマリーゴールドの苗約300

株を植えた。

同小の3年生約60人と同科の3年生6人が参加。生徒が「先生」役となって、ポットから苗を取り出す方法や、開けた穴への植え方、土のかぶせ方などを指導し、児童は教えてもらった通りに一株一株丁寧に植えていった。

最後はきれいな花が咲くよう願いながら、苗に水をまいた。同小の森本好咲さ

んは「(高校生が)優しく教えてくれて、植えるのも楽しかった。きれいで大きな花が咲いてほしい」と話した。
(玉田健太)